

令和3年度 消費者庁
消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業
成年消費者向け教材制作 制作状況報告書及び実証計画書

令和3年11月1日

目次

1 事業目的・事業概要

1-1 事業目的	p.3
1-2 事業概要	p.4

2 コンテンツ制作状況

2-1 教材コンテンツ全体	p.6
2-2 成年向け教材テーマ	p.7
2-3 教材制作状況	p.10

3 成年向け実証計画

3-1 成年消費者向け研修	p.28
3-2 一般消費者向け配信	p.32
3-3 成年向け実証スケジュール	p.34
3-4 実証環境	p.35

4 実証検証について

4-1 実証検証の目的と概要	p.36
4-2 内容 ― アンケート	p.37
4-3 実証検証スケジュール	p.43

5 全体スケジュール

全体スケジュール	p.44
----------------	------



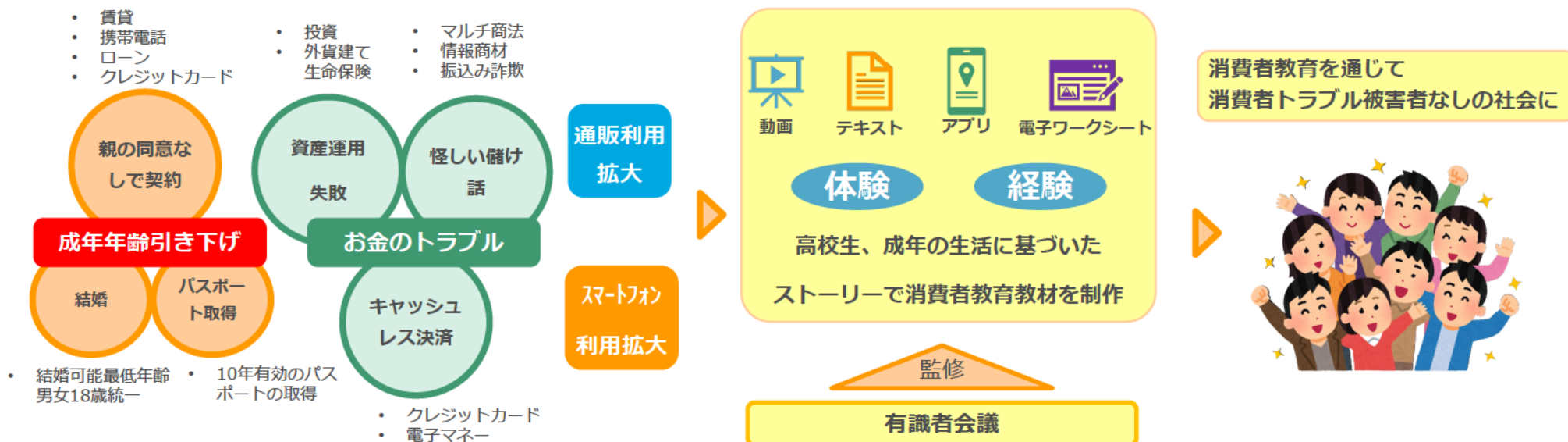
事業目的・事業概要

1-1 事業目的

新型コロナウイルス感染症の拡大や、新しい生活様式への移行に伴い、消費のデジタル化が加速しています。その一方で、急速な変化に伴う消費者の脆弱性につけこんだ消費者トラブルの防止が課題となっています。消費者におけるデジタル化への対応を早急に促すべく、幅広い年齢層の消費者に適した学習教材が必要とされています。また、タブレットやスマートフォンが普及し、インターネットが社会インフラの一部となり、教材の可搬性、教材へのアクセシビリティ、教材の変更容易性などを加味し、より学習しやすい教材として、デジタル教材を提供する必要性が増えています。そこで、**消費者トラブル防止の啓発用デジタル教材を制作し、制作物の内容検証、及び当該教材を活用した効果的な啓発手法の構築を目的とし、本実証を行います。**

■背景

- (1) 成年年齢18歳への引き下げによる消費者トラブル
- (2) 人生100年時代を意識した成年のお金に関するトラブル
- (3) 新型コロナウイルス感染症の拡大によるインターネット通販利用拡大
- (4) タブレットやスマートフォンが世代を問わず普及し、インターネットが社会インフラの一部



1-2 事業概要

本事業「消費者保護のための啓発用デジタル教材を活用した調査実証事業」では、「（１）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作」、「（２）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施」の２つの事業を中心に実施します。

（１）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作

実証事業の中で活用する動画コンテンツ、授業用教材、その他デジタルコンテンツ及びWebポータルサイトを制作します。教材は、高等学校の授業及び成年向け研修での活用、及びCATV配信・Web配信によって一般消費者の利用に提供することを前提としております。

（２）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施

消費者の世代に合わせて制作された実証事業のための啓発用デジタル教材等の内容検証、及び当該教材を活用した効果的な啓発手法の構築を目的として、①高等学校における試験授業、②成年消費者向け研修、及び③一般消費者向け情報配信を内容とする実証事業を行います。また、実施にあたり「実証に関する有識者委員会の設置・運営」をし、本事業を効果的・効率的なものとしします。

（１）実証事業のための啓発用デジタル教材等の制作

シナリオ作成

- ・ 全体コンセプト
- ・ 高校生向けシナリオ
- ・ 成年向けテーマ

デジタル教材制作

- ・ 高校生向け教材
- ・ 成年向け教材



（２）啓発用デジタル教材に係る実証事業の実施

啓発用デジタル教材の実証

高等学校における実証授業

成年消費者向け研修

一般消費者向け情報配信

ブラッシュアップ

アンケート結果整理

有識者会議での報告・検証作業

消費者庁への報告

コンテンツ修正



教材制作状況

2-1. 教材コンテンツ全体

■ 制作教材の制作数と用途

本事業で制作する教材の全体像になります。
次頁より成年向け教材に関して、各コンテンツの状況をご説明します。



2-2. 成年向け教材テーマ

■ 成年向け教材全体フレーム

主たる対象者 コンテンツ	主な学習内容	研修の目的
共通事項	①契約と取引 ②決済と信用取引	<ul style="list-style-type: none"> ・契約のタイミングを理解する。 ・電子商取引における契約、C2C取引の特徴を理解する。 ※デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブル対応 ・キャッシュレス決済について、仕組みと特徴を理解する。 ・信用取引の留意点について理解する。
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者保護制度 ・消費者相談窓口の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・クーリング・オフ、消費者契約法など消費者保護制度を理解する。 ・消費者トラブルに遭った際の対応について理解する。 ※クーリング・オフの行使の仕方 ※消費生活センターへの相談の仕方
若年者 eラーニングアプリ① トラブル動画5分① アプリ①	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定の失敗、多面的な比較と検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・財・サービスを購入する際に、多面的な観点から比較検討し、批判的思考に基づき主体的に意思決定することの重要性を理解する。 ※若年者に多い消費者トラブル事例と対応策紹介 悪質商法：マルチ商法や情報商材、副業サイト 定期購入トラブル：化粧品や有料アプリのサブスク 等
中高年 eラーニングアプリ② トラブル動画5分② アプリ②	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見越した経済の管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・50歳代以降の生活設計・マネープランを通して、人生における収入と支出の関係について考える。 ※中高年に多い消費者トラブル事例と対応策紹介 退職金や年金に係る資産運用詐欺・トラブル 悪質商法：詐欺サイト、マルチ商法、副業サイト 定期購入トラブル：健康食品のサブスク 等

2-2. 成年向け教材テーマ

若年者層向け学習モデル

導入

① 学習目標確認

研修の目的・構成・目次を示す。

デジタル化が進む社会において、消費者がデジタル機器・サービスの利便性を活かしつつ消費者トラブルに遭わないようにするための知識・能力を身に付けること

展開

② 契約と取引

- ・ 契約のタイミングを理解する。
- ・ 電子商取引における契約、CtoC取引の特徴を理解する。
※デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブル対応策を説明

<学習目的>

- ・ 電子商取引の契約成立のタイミングを紹介し、ワンクリック詐欺では契約が成立しない（確認画面が必要）ことを伝える。
- ・ 支払いタイミングを意識し、クレジットは借金であって慎重な利用検討が必要であることを伝える。

③ 決済と信用取引

- ・ キャッシュレス決済について、仕組みと特徴を理解する。
- ・ 信用取引の留意点について理解する。

<学習目的>

クレジット払いの特徴（信用取引とは、リボ払いに関する正しい知識、手数料）

④ 意思決定の失敗・多面的な比較と検討

- ・ 財・サービスを購入する際、多面的な観点から比較検討し、批判的思考を養い、それに基づき主体的に意思決定することの重要性を理解する。

<学習目的>

- ※若年者が遭うことが多いトラブル事例と対応紹介
悪質商法：マルチ商法や情報商材、副業サイト
定期購入トラブル：お試しをうたう化粧品や有料アプリのサブスク 等
⇒具体的なトラブル事例と注意点を動画で紹介
- ・ 金銭に加え個人情報の詐取にも触れる
⇒理解を深める／問題解決に役立つアプリを提供
- ・ 具体的なトラブル事例紹介とともに、トラブル予防・回避のために必要な知識や対応方策について説明し、動画は予防策・解決策を示して単独で内容を完結させる

⑤ 消費者保護制度・消費者相談窓口の活用

- ・ クーリング・オフ、消費者契約法など消費者保護制度を理解する。
- ・ 消費者トラブルに遭った際の対応について理解する。

<学習目的>

- クーリング・オフの行使の仕方
消費生活センターへの相談の仕方の疑似体験等
- ・ 一方的に事業者が有利な契約は取り消せるなど救済の可能性がある一方、クーリング・オフはネット通販や店舗購入には適用されないなど制限もあることを伝える。
- ・ 消費生活センターに相談してアドバイスを受ける際のコツ（契約書の保存、質問事項のメモ用意 等）を紹介する。

まとめ

上記の学習内容の理解度を選択肢から正答を選ぶ方式でテストする。

※繰り返しテストできるようにする。※各問の回答後に解説ページを設けて理解を深める。解説には予防策・解決策に触れ、学習内容を復習できる記載にする。

2-2. 成年向け教材テーマ

中高年者層向け学習モデル

導入

① 学習目標確認

研修の目的・構成・目次を示す。

デジタル化が進む社会において、消費者がデジタル機器・サービスの利便性を活かしつつ消費者トラブルに遭わないようにするための知識・能力を身に付けること

展開

② 契約と取引

- ・契約のタイミングを理解する。
- ・電子商取引における契約、CtoC取引の特徴を理解する。
※デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブル対応策を説明

<学習目的>

- ・電子商取引の契約成立のタイミングを紹介し、ワンクリック詐欺では契約が成立しない（確認画面が必要）ことを伝える。
- ・支払いタイミングを意識し、クレジットは借金であって慎重な利用検討が必要であることを伝える。

③ 決済と信用取引

- ・キャッシュレス決済について、仕組みと特徴を理解する。
- ・信用取引の留意点について理解する。

<学習目的>

クレジット払いの特徴（信用取引とは、リボ払いに関する正しい知識、手数料）

④ 生涯を見越した経済の管理と消費トラブル

- ・50歳代以降の生活設計・マネープランを通して、人生における収入と支出の関係について考える。
- ・中高年者が遭うことが多いトラブル事例と対応方策を理解する。

<学習目的>

- 退職金や年金に係る資産運用詐欺・トラブル
- 悪質商法：詐欺サイト、マルチ商法、副業サイト
- 健康器具・食品に関する消費者トラブル 等
⇒具体的なトラブル事例と注意点を動画で紹介
- 金銭に加え個人情報の詐取にも触れる
⇒理解を深める／問題解決に役立つアプリを提供
- ・具体的なトラブル事例紹介とともに、トラブル予防・回避のために必要な知識や対応方策について説明し、動画は予防策・解決策を示して単独で内容を完結させる

⑤ 消費者保護制度・消費者相談窓口の活用

- ・クーリング・オフ、消費者契約法など消費者保護制度を理解する。
- ・消費者トラブルに遭った際の対応について理解する。

<学習目的>

- クーリング・オフの行使の仕方
- 消費生活センターへの相談の仕方の疑似体験等
- ・一方的に事業者が有利な契約は取り消せるなど救済の可能性がある一方、クーリング・オフはネット通販や店舗購入には適用されないなど制限もあることを伝える。
- ・消費生活センターに相談してアドバイスを受ける際のコツ（契約書の保存、質問事項のメモ用意 等）を紹介する。

まとめ

上記の学習内容の理解度を選択肢から正答を選ぶ方式でテストする。

※繰り返しテストできるようにする。※各問の回答後に解説ページを設けて理解を深める。解説には予防策・解決策に触れ、学習内容を復習できる記載にする。

2-3. 教材制作状況

■ デジタル教材の制作状況について

現在制作中のデジタル教材につきまして、実証に向けて制作の最終段階となっております。11月下旬から開始となる実証に向けて順次教材をリリースしていきます。リリースした教材はWebポータルサイト上に載せていきますので、随時ご確認いただける状況となる予定です。

◆ 制作部分スケジュール抜粋

- ・ 赤枠部分が主に成年向け実証で利用するデジタル教材となります

	令和3年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
有識者会議・分科会	第1回有識者会議分科会 分科会（成年消費者向けの研修の検討）対応					第2回	
デジタル教材制作							
動画	要件定義	制作・編集			順次リリース		
授業用教材	要件定義	授業用教材作成			順次リリース		
その他デジタルコンテンツ（アプリ）	要件定義	アプリ開発、検証			順次リリース		
その他デジタルコンテンツ（eラーニング）	要件定義	仮制作		実装			
Webポータルサイト	要件定義	開発			公開		公開

2-3. 教材制作状況

■ 動画：制作本数

動画制作本数は全部で12テーマ 13本 うち成年向けは11テーマ 12本(①～③、⑤～⑫)

■ マーカーは高校生用教材
■ マーカーは高校生用／成年向け同一教材
■ マーカーは成年向け教材

<eラーニングで使用する動画>

- テーマ1（若年者層／中高年者共通）→ ① 契約の基礎知識、ネット通販での契約成立
- テーマ3（若年者層）→ ② デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブルに遭った時の対応
- ③ CtoC取引（フリマサイト等）とBtoC取引の違い
- ④ SNS広告やその他のネット広告（ターゲティング広告等）の仕組みや注意点
- テーマ3（中高年者層）→ ⑤ お金の管理（収支予算の算出、多重債務など）
- テーマ2（若年者層／中高年者共通）→ ⑥-1 キャッシュレス決済の仕組み（支払いタイミングと信用取引を学ぼう）
- ⑥-2 キャッシュレス決済の仕組み（キャッシュレス決済の仕組みを理解しよう）
- ⑦ 成年年齢引き下げに伴って増加が予想されるトラブルについて
- ⑧ マルチ商法や情報商材、副業サイト等の悪質商法に係るトラブルへの対応
- ⑨ 定期購入トラブル（健康食品や有料アプリのサブスク等）
- ⑩ 製品の安全性（通販による海外取引、リコール製品のフリマ出品等）
- テーマ5（若年者層／中高年者共通）→ ⑪ 消費生活センターへの相談の仕方
- テーマ4（若年者層／中高年者共通）→ ⑫ クーリング・オフ制度、消費者契約法

2-3. 教材制作状況

■ その他デジタルコンテンツ（アプリ）：制作本数

制作アプリは全部で7本

うち成年向けはeラーニング2本、その他アプリ3本（高校生／成年向け共通）の計5本

■ マーカーは高校生用教材
■ マーカーは高校生用／成年向け同一教材
■ マーカーは成年向け教材

QUIZ

クイズ形式

①「契約のしやすさ」得点クイズ

未成年者取消権やクーリング・オフなど、契約上の基礎知識を知っているかをクイズ形式でテストし自己採点し、理解を深める。



心理テスト

②「騙されやすさ」心理傾向チェック

数問から十数問の質問に対する回答を選択肢から選ぶことで、悪質商法への騙されやすさ等の心理的傾向を分析する。



仮想体験シミュレータ

③「デジタル取引」体験

ネット通販やフリマアプリ、及びキャッシュレス決済等のデジタル取引を仮想体験する。

④「ローンシミュレータ」

ローン払いに関し、購入金額、支払い期間・回数及び利息を設定すると、月々の支払額や総支払額を計算・表示できる。

⑤「お金の管理（未来設計）」

月々の収入と支出の入力を通じて、お金の管理に関する基礎知識、及びやり方を身につけるための家計管理機能を有するコンテンツ。

eラーニング

⑥成年（若年者層）向け

意思決定の失敗を、若年者層に多い消費トラブルの事例で紹介。

トラブルに巻き込まれない為の思考方法を学ぶ。消費生活に必要な基礎知識を高校生向け授業の教材から抜粋し学ぶ。

⑦成年（中高年者層）向け

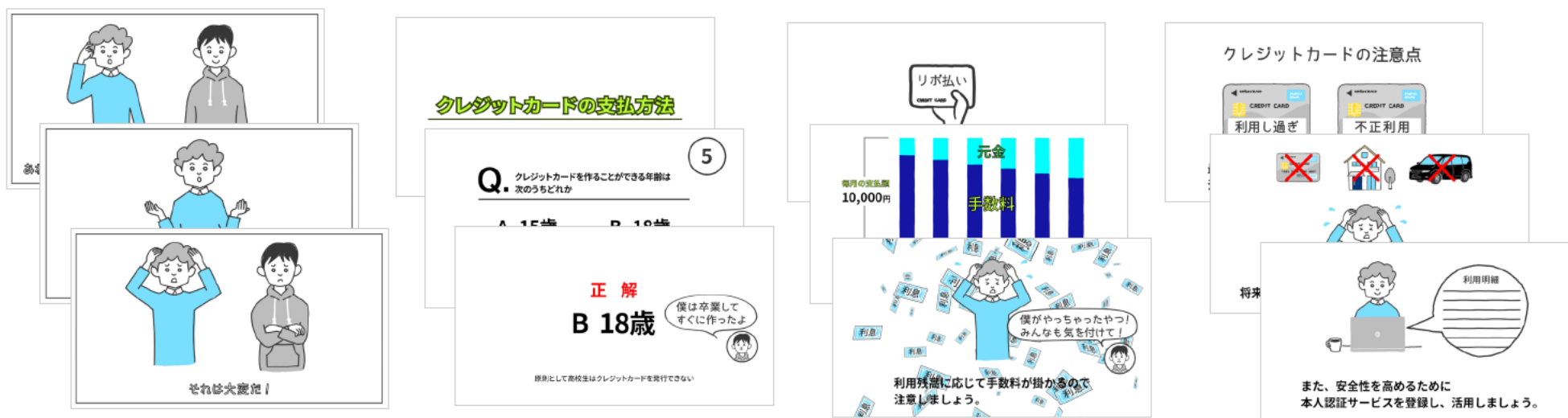
50代以降の経済管理において知ってほしい知識を、中高年者に多く見られるトラブル事例で紹介。

トラブルに巻き込まれない為の思考方法を学ぶ。また、消費生活に必要な基礎知識を高校生向け授業の教材から抜粋し学ぶ。

2-3. 教材制作状況

■ 動画の紹介

◆ 動画06-01_キャッシュレス決済の仕組み_支払いタイミングと信用取引を学ぼう より



トラブル事例

自分ごととして捉えやすい事例、具体的な数字の掲出などでインパクトを与え、関心を持ってもらいます。

クイズで考える

いくつかの動画テーマでは、クイズで問いかけることにより、自身の現在の理解度を知ってもらうことで、後半の展開により関心を持ってもらいます。

解説

消費トラブルの仕組みをイラストや図解、表などで分かりやすく解説。難しい仕組みをわかりやすく説明します。合わせてトラブルが生じた原因を説明し、どのような点に気をつければよいか気付きを与えます。

対策

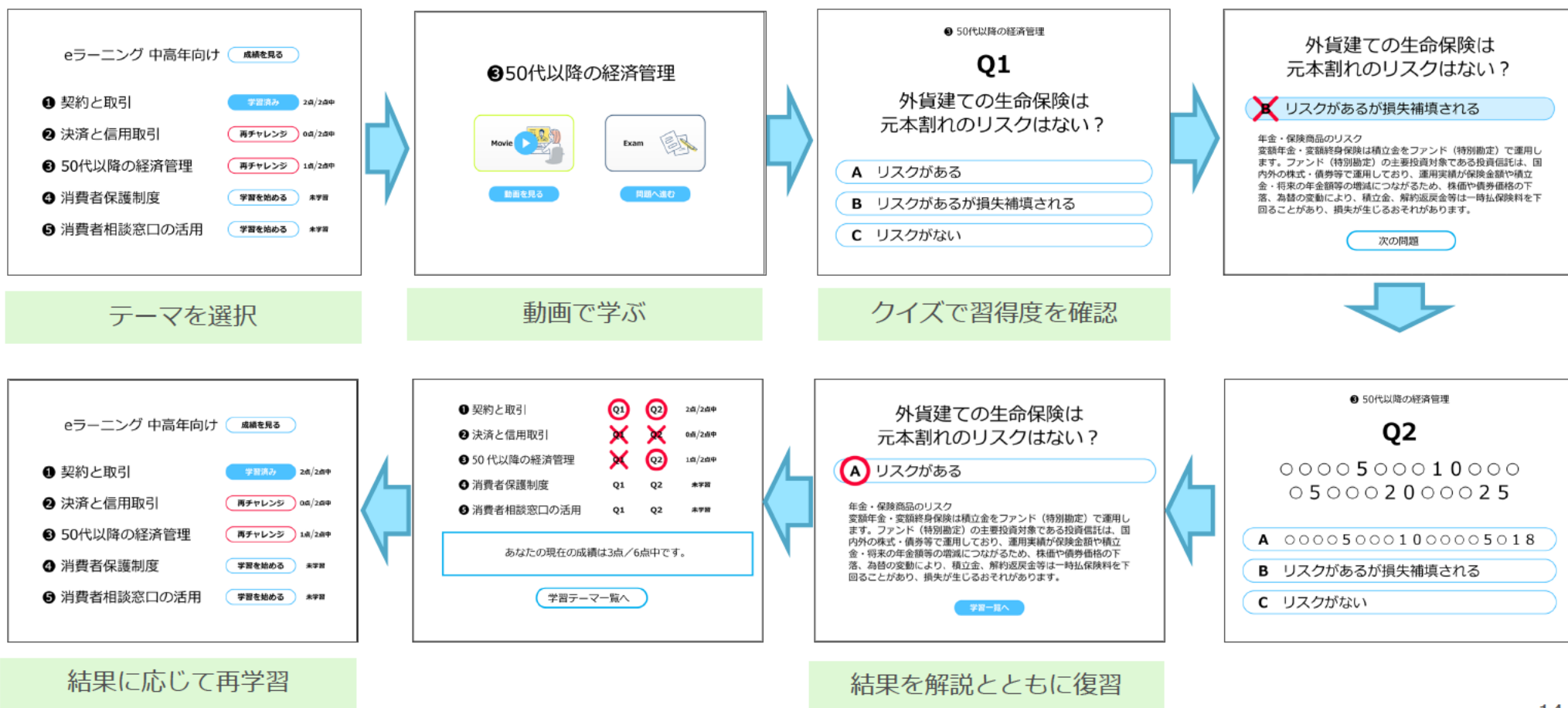
トラブルに合わないための対策、ポイントを解説。トラブル予防・回避のための知恵を学びます。

2-3. 教材制作状況

■ その他デジタルコンテンツ（eラーニング）の紹介

◆ eラーニングの構成（中高年向けの例）

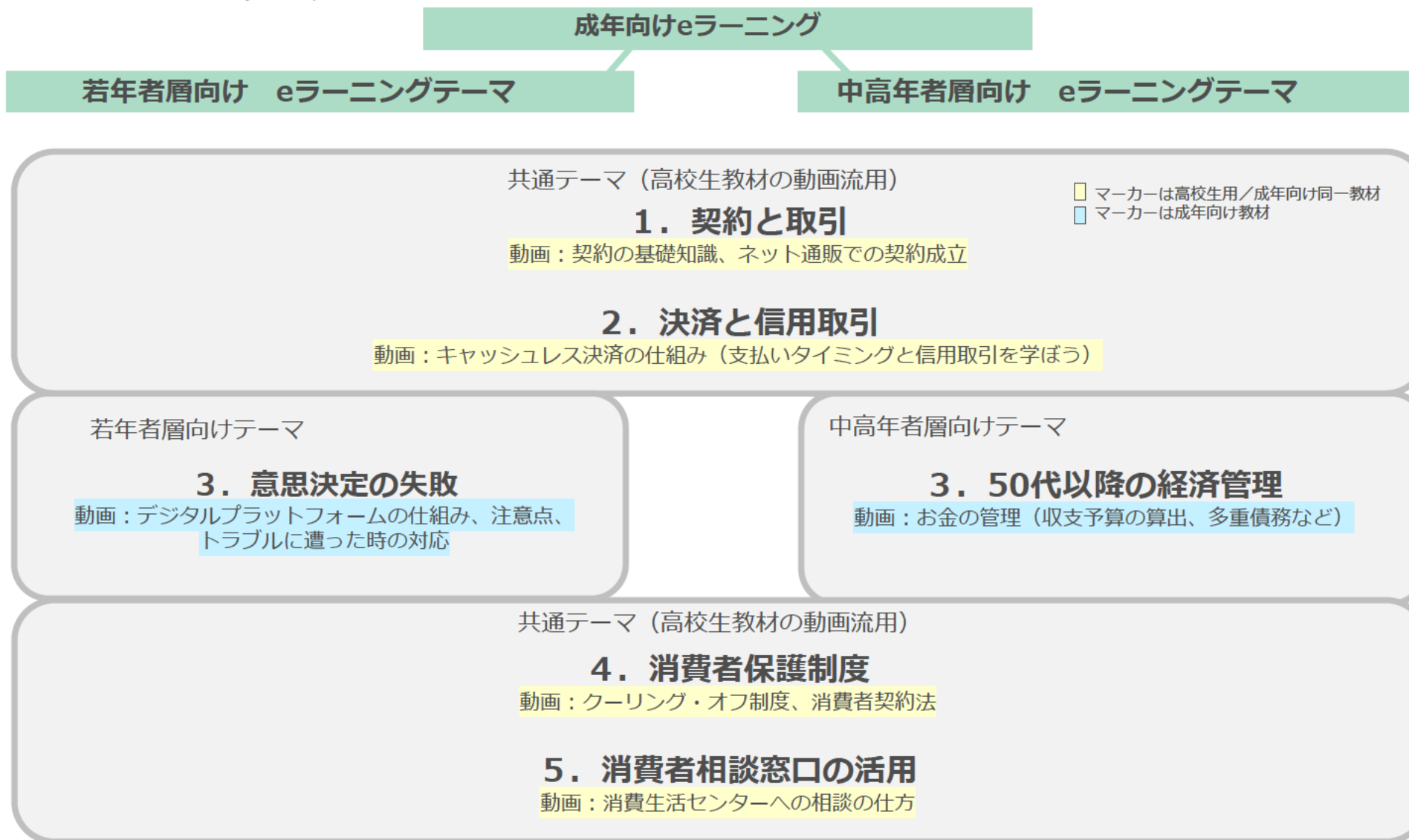
・受講者の受講遷移イメージは以下の通りです



2-3. 教材制作状況

■ その他デジタルコンテンツ（eラーニング）の紹介

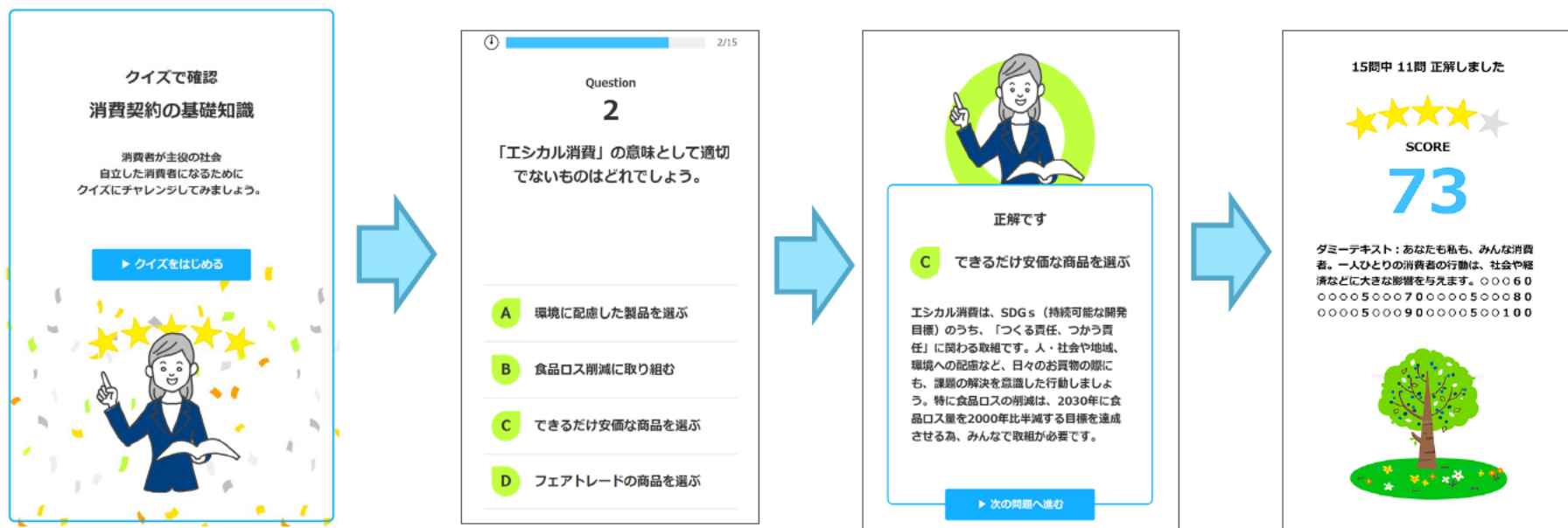
◆ eラーニングのテーマ



2-3. 教材制作状況

■ その他デジタルコンテンツ（アプリ）の紹介

◆ 「契約のしやすさ」クイズ



15問のクイズに挑戦

解説とともに学ぶ



スコアに応じたレベルを表示

2-3. 教材制作状況

■ その他デジタルコンテンツ（アプリ）の紹介

◆ ローンシミュレータ



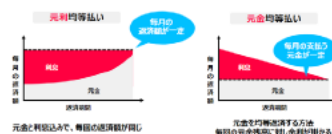
試算したい種類を選択

条件を入力

合計／毎月の金額を表示

返済計画表を表示

元利均等払い・元金均等払いについて



閉じる

返済イメージを表示

2-3. 教材制作状況

■委員の皆様・オブザーバの皆様への教材照会について

今回、主として成年向けに制作している教材（朱書き）について、分科会委員の皆様・オブザーバの皆様へ教材照会をさせて頂き多くのご意見を賜りました。ご協力頂きまして誠にありがとうございました。（内訳は次ページに記載）

学習方法	教材形式	教材（成年向け／高校生・成年向け共通）
世代毎に必要なテーマを一式で学習	eラーニング	<div>成年向け（若年者層）eラーニング</div> <div>成年向け（中高年者層）eラーニング</div> <div> <div>■ マーカーは高校生用／成年向け同一教材</div> <div>■ マーカーは成年向け教材</div> </div>
テーマ毎に個別教材で学習	アプリ	契約のしやすさ クイズ ローンシミュレータ お金の管理
	動画 11テーマ（12本）	<ul style="list-style-type: none"> • 契約の基礎知識、ネット通販での契約成立 • デジタルプラットフォームの仕組み、注意点、トラブルに遭った時の対応 • CtoC取引（フリマサイト等）とBtoC取引の違い • お金の管理（収支予算の算出、多重債務など） • キャッシュレス決済の仕組み（支払いタイミングと信用取引を学ぼう） • キャッシュレス決済の仕組み（キャッシュレス決済の仕組みを理解しよう） • 成年年齢引き下げに伴って増加が予想されるトラブルについて • マルチ商法や情報商材、副業サイト等の悪質商法に係るトラブルへの対応 • 定期購入トラブル（健康食品や有料アプリのサブスク等） • 製品の安全性（通販による海外取引、リコール製品のフリマ出品等） • 消費生活センターへの相談の仕方 • クーリング・オフ制度、消費者契約法

※黒字の教材については、親会委員の皆様・オブザーバの皆様へ教材照会をさせていただいております

2-3. 教材制作状況

■委員の皆様・オブザーバの皆様から頂いたご指摘・ご意見について（内訳）

委員の皆様・オブザーバの皆様（消費者庁内への関連部署含む）への照会におけるフィードバック件数の内訳と主な内容は以下の通りです。頂いたご指摘・ご意見のうち、可能な限り多くの内容を教材に反映できるよう取り組んでいます。

赤枠部分が主に成年向け実証で利用するデジタル教材となります

照会先	教材種別		フィードバック件数				主な内容
			ご指摘	ご意見	その他	計	
親会	PPT	(13本)	46	106	5	157	<ul style="list-style-type: none"> 誤字／脱字等に関するもの 販売社 → 販売店 など 文章の表現／言い回しに関するもの 利息 → 手数料に統一 など 取り上げる事例／内容に関するもの エシカル消費について取り上げる など 教材の展開／流れに関するもの スライド2と5の順序を入れ替える など イラストのイメージに関するもの 動画に分かり易くイラストを追加 など
	ワークシート	(9本)	31	38	2	71	
	アプリ	(5本)	18	20	4	42	
	動画	高校生/成年共通（5本）	42	51	6	99	
		高校生向け（1本）	1	3	0	4	
	その他		4	14	0	18	
	合計		142	232	17	391	
分科会	eラーニング	若年者層/中高年者層（2本）	4	16	0	20	
	動画	成年向け（7本）のうち 動画02,05（2本）	18	9	4	31	
		動画03,07,08,09,10（5本）	66	61	1	128	
	合計		88	86	5	179	

2-3. 教材制作状況

■ ご指摘・ご意見の反映の一例

◆ 委員の皆様・オブザーバの皆様から頂戴したご指摘・ご意見の反映の一例

動画02：デジタルプラットフォームの仕組み_注意点_トラブルに遭った時の対応の1シーン

<ご指摘事項>

- ・デジタルプラットフォームとは何なのか ということは、この動画の前にどこかで説明があるのでしょうか？（全体の流れがわからなくて恐縮ですが）なければどこかで説明が必要です。
- ・「デジタル・プラットフォーマー」といきなり言われても、何のことか分からない方もまだまだ多いと思います。後を見ていけば分かってくると思うのですが、不明な気持ちで進むより、冒頭で一言解説が欲しいです
- ・デジタルプラットフォームが既知のように登場するが何のことを指すのか事前に説明しなくて大丈夫か。（この動画の前に既に説明済なら問題ない）

修正前

デジタルプラットフォーム
仕組み・注意点・トラブルに遭った時の対応

(Na)
この動画では、「デジタル・プラットフォーム」の仕組みや注意点、トラブルに遭った時の対応について解説します。

修正後

シーンの追加



オンライン上で商品などを売買する『場』を提供するサービスです。

デジタルプラットフォーム
仕組み・注意点・トラブルに遭った時の対応

(Na)
「デジタル・プラットフォーム」は、オンライン・ショッピングモール、オークション、フリマサイトといった、オンライン上で商品などを売買する『場』となるサイトやアプリのことをいい、それらを運営する事業者を「デジタルプラットフォーム事業者」といいます。

(Na)
この動画では、「デジタル・プラットフォーム」の仕組みや注意点、トラブルに遭った時の対応について解説します。

2-3. 教材制作状況

■ ご指摘・ご意見の反映の一例


◆ 委員の皆様・オブザーバの皆様から頂戴したご指摘・ご意見の反映の一例

アプリ02：契約のしやすさクイズ 解説の1シーン

<ご指摘事項>

- ・ 消費者ホットライン188は消費生活センターの直通番号ではないので適切な説明となるよう文言の修正をしてください。
- ・ 選択肢で似た番号が登場するため、解説に「188（いやや）」という覚え方も補足で入れておくと思いしました。

修正前




正解です

A 188

消費生活センターでは、消費者からの苦情や相談に対し、公正な立場で問題解決に向けた助言や情報提供を行っています。消費者ホットライン188に電話すると居住地域の消費生活センターにつながります。

▶ 次の問題へ進む

修正後



正解です

A 188

消費者ホットライン「188（いやや）」は、お近くの消費生活センター等の相談窓口をご案内する全国共通の3桁の電話番号です。消費生活センターでは、消費者から、商品の購入やサービスの利用に関する契約トラブル等の苦情や相談に対し、公正な立場で問題解決に向けた助言や情報提供を行っています。

▶ 次の問題へ進む

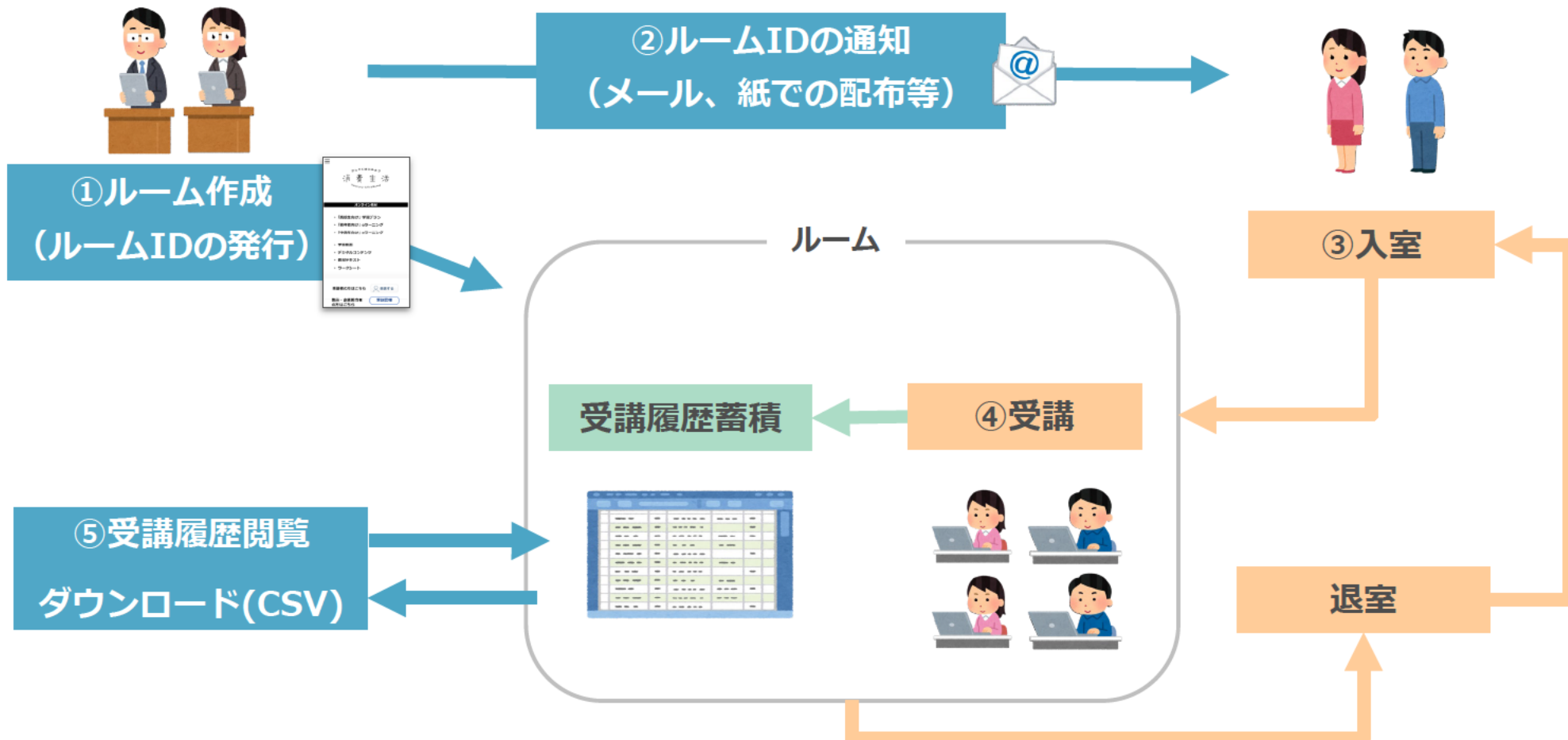
2-3. 教材制作状況

■ 管理機能

- ・管理機能は、その他デジタルコンテンツ（eラーニング、アプリ）の学習履歴を管理する機能を提供します
- ・管理機能の利用イメージは下記の通りです

| 教員・企業担当者 |

| 受講者 |



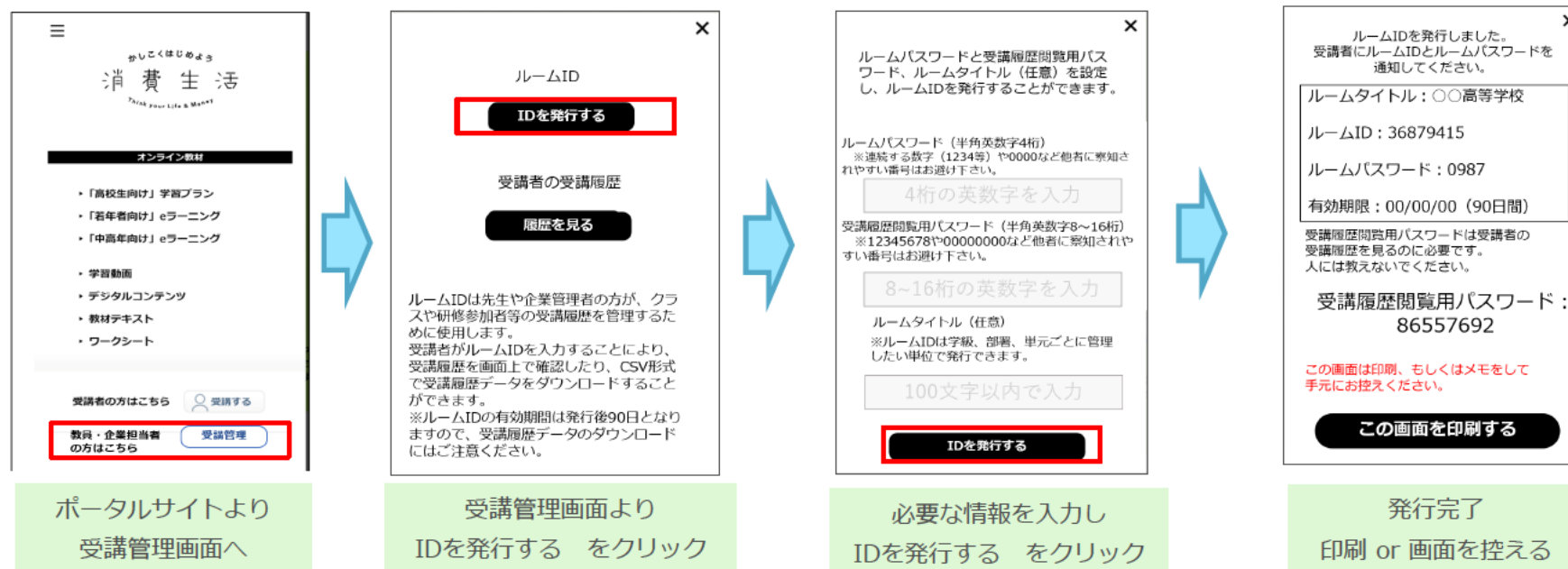
2-3. 教材制作状況

■管理機能 管理者（教員・企業担当者）向け

- ・管理機能により「eラーニング」及び「アプリ」の受講履歴（受講状況一覧含む）の取得ができます

◆ルームIDの発行

- ・管理機能を利用する場合、事前に管理者（教員・企業担当者）によるルームIDの発行を行う必要があります
- ・ルームIDは、発行後90日間有効に設定しています



2-3. 教材制作状況

■管理機能 管理者（教員・企業担当者）向け

◆受講履歴の確認

- ・管理者は受講者の受講履歴を確認することが可能です

消費生活
Think your Life & Money

オンライン教材

- ・「高校生向け」学習プラン
- ・「若年者向け」eラーニング
- ・「中高年向け」eラーニング

学習動画
デジタルコンテンツ
教材テキスト
ワークシート

受講者の方はこちら

教員・企業担当者の方はこちら

ポータルサイトより
受講管理画面へ

ルームID

IDを発行する

受講者の受講履歴

履歴を見る

ルームIDは先生や企業管理者の方が、クラスや研修参加者等の受講履歴を管理するために使用します。
受講者がルームIDを入力することにより、受講履歴を画面上で確認したり、CSV形式で受講履歴データをダウンロードすることができます。
※ルームIDの有効期間は発行後90日となりますので、受講履歴データのダウンロードにはご注意ください。

受講管理画面より
履歴を見る をクリック

ルームID

8桁の数字を入力

受講履歴閲覧パスワード

8~16桁の英数字を入力

受講履歴を表示

必要な情報を入力し
受講履歴を表示 をクリック

◆受講履歴閲覧画面が表示される

＜受講履歴の閲覧内容＞

- ・受講者の受講状況
- ・eラーニングのクイズ正解数
- ・クイズアプリの得点
- ・各アプリの受講時間

◆各項目毎にソートが可能

◆CSVによるダウンロードが可能

画面イメージ

受講履歴閲覧

〇〇高等学校 ルームID：36879415

CSVダウンロード

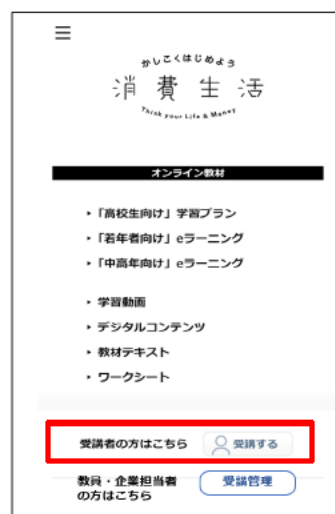
学籍番号・社員番号	アプリ名	単元・テーマ名	結果	受講開始日時	受講終了日時	受講時間
2-1-2	eラーニング若年者向け	5.消費者相談窓口の活用	2/2	2021/11/3 10:50:00	2021/11/3 11:00:00	10:00
2-1-2	eラーニング若年者向け	4.消費者保護制度	2/2	2021/11/3 10:40:00	2021/11/3 10:48:00	8:00
2-1-2	eラーニング若年者向け	3.意思決定の失敗	2/2	2021/11/1 11:20:00	2021/11/1 11:32:00	12:00
2-1-2	eラーニング若年者向け	2.決済と信用取引	2/2	2021/11/1 11:10:00	2021/11/1 11:19:00	9:00
2-1-2	eラーニング若年者向け	2.決済と信用取引	1/2	2021/11/1 11:00:00	2021/11/1 11:08:00	8:00
2-1-2	eラーニング若年者向け	1.契約と取引	2/2	2021/11/1 10:50:01	2021/11/1 10:59:00	9:00
2-1-2	eラーニング若年者向け	1.契約と取引	-	2021/11/1 10:40:01	-	-

2-3. 教材制作状況

■ 管理機能 受講者向け

◆ ルームへの参加

- ・ 受講履歴を残す場合、あらかじめ受講者は管理者から指定されたルームに参加する必要があります



ポータルサイトより
受講する をクリック



あらかじめ先生もしくは企業管理者から伝えられている、ルームIDとルームパスワードを入力してください。
eラーニング受講者はルームIDの有効期間内であれば再度ルームに入室することで途中から受講を再開することができます
(同じ端末・同じブラウザからのみ)

ルームID

8桁の数字を入力

ルームパスワード

4桁の英数字を入力

学籍番号・社員番号など
※氏名や生年月日などの個人情報は入れないでください。

40文字までの英数字を入力

※ルームIDは、先生・企業担当者の方が作成した日から90日間有効です

ルームに参加する

必要な情報を入力し
ルームに参加する をクリック



ポータルサイトTOPの右上に「退出する」が表示されていれば
ルームへの参加完了

2-3. 教材制作状況

■ 管理機能 受講者向け

◆ ルームからの退出

- ・ 受講者は基本的にルームからの退出をする必要はありませんが、同一端末・同一ブラウザを複数の受講者で利用する場合、端末利用者が変わる際に、一度ルームから退出し再度ルームに参加する必要があります





成年向け実証計画

3-1. 成年消費者向け研修

実証研修 対象企業

業種	本社所在地	社員数	実証研修対象人数
製造業	大阪府	10万人以上	調整中
金融業、保険業	東京都	1万人以上 ※内勤従業員数	調整中
サービス業	徳島県	100-200名	20名
サービス業	徳島県	100-200名	10名程度

実証研修スケジュール

- 教材説明会：11月中旬
- 実証研修期間：11月下旬～12月
- サポート期間：実証研修期間と同期間
- 研修後アンケート：研修実施後～1月

調査実証内容

- 企業の社員が、成年向け消費者教育研修ストーリーに沿って、世代別のテーマをeラーニング研修で受講
- 若年者層向けeラーニング、中高年者層向けeラーニングのうち、自身の世代に合ったeラーニングを受講
- 各社の研修可能時間によって、全テーマまたは任意のテーマを受講

3-1. 成年消費者向け研修

実証研修 準備期間

実施内容	主体者	現地/オンライン
動作確認 社内ネットワークからWebポータルサイトへの疎通確認を行う	企業研修担当者	現地
端末準備 eラーニング受講用端末が不足している場合、貸与を行うため、必要数の確認	事務局	オンライン
教材説明会 eラーニング教材の使い方を、企業研修担当者様に教材説明会にて説明	事務局	オンライン
研修案内 研修受講者へeラーニング研修の案内を通知	企業研修担当者	現地
サポート資料準備 ポータルサイト上にFAQを準備 eラーニング研修の操作マニュアル（企業担当者向け）を配布	事務局	オンライン

3-1. 成年消費者向け研修

実証研修 実施期間

実施内容	主体者	現地/オンライン
研修実施 自身の世代のeラーニング研修を受講	研修受講者	現地
ヘルプデスク 実証研修期間中に、デジタル教材の使い方・不明点の問い合わせ窓口を設置 平日9:00～18:00（祝日や年末年始は除く）において、使用確認や動作確認などの問合せ対応	事務局	オンライン
実施風景撮影 研修風景撮影（社内での受講、在宅勤務時での受講）	企業研修担当者 研修受講者	現地

3-1. 成年消費者向け研修

実証研修 アンケート

実施内容	主体者	現地/オンライン
アンケート項目、フォーム作成 アンケート項目を作成 アンケート項目をフォーム（MS Forms）に登録	事務局	オンライン
アンケートフォーム展開 作成したフォームを企業研修担当者へ展開、フォームの使い方を説明	事務局	オンライン
研修アンケート実施依頼 研修受講者に研修アンケート実施依頼 フォームのURLをメールで送付	企業研修担当者	現地
研修前アンケート実施 研修前アンケートを実施 ※一部企業	研修受講者	現地
研修後アンケート実施 研修後アンケートを実施	研修受講者	現地
アンケート結果回収 研修前アンケート結果、研修後アンケート結果のデータを収集	事務局	オンライン
インタビューまたは座談会 実証研修後に企業研修担当者へ感想や意見を確認する場を設ける	事務局	オンライン

3-2. 一般消費者向け配信

一般消費者向け配信は、徳島県内のケーブルテレビネットワークを介して実施します。

実証配信企業

- ・ 徳島県内ケーブルテレビ事業者1社

実証配信スケジュール

- ・ デジタル教材提供：11月～12月上旬
- ・ 情報配信期間：12月～1月20日
- ・ アンケート：配信開始時期～1月

実証配信コンテンツ

- ・ 成年向け動画12本を中心に、本事業で制作するコンテンツをCATV番組内等で配信

3-2. 一般消費者向け配信

配信準備期間

実施内容	主体者	現地/オンライン
コンテンツ受渡し オンラインストレージ等利用し、動画コンテンツを送付	事務局	オンライン
番組制作 啓発用デジタルコンテンツを含んだ番組の制作	CATV担当者	現地

配信期間

実施内容	主体者	現地/オンライン
配信実施 啓発用デジタルコンテンツを含んだ番組の配信	CATV担当者	現地
放送風景撮影 視聴風景撮影 ※ご協力可能かの確認必要	視聴者	現地

配信アンケート

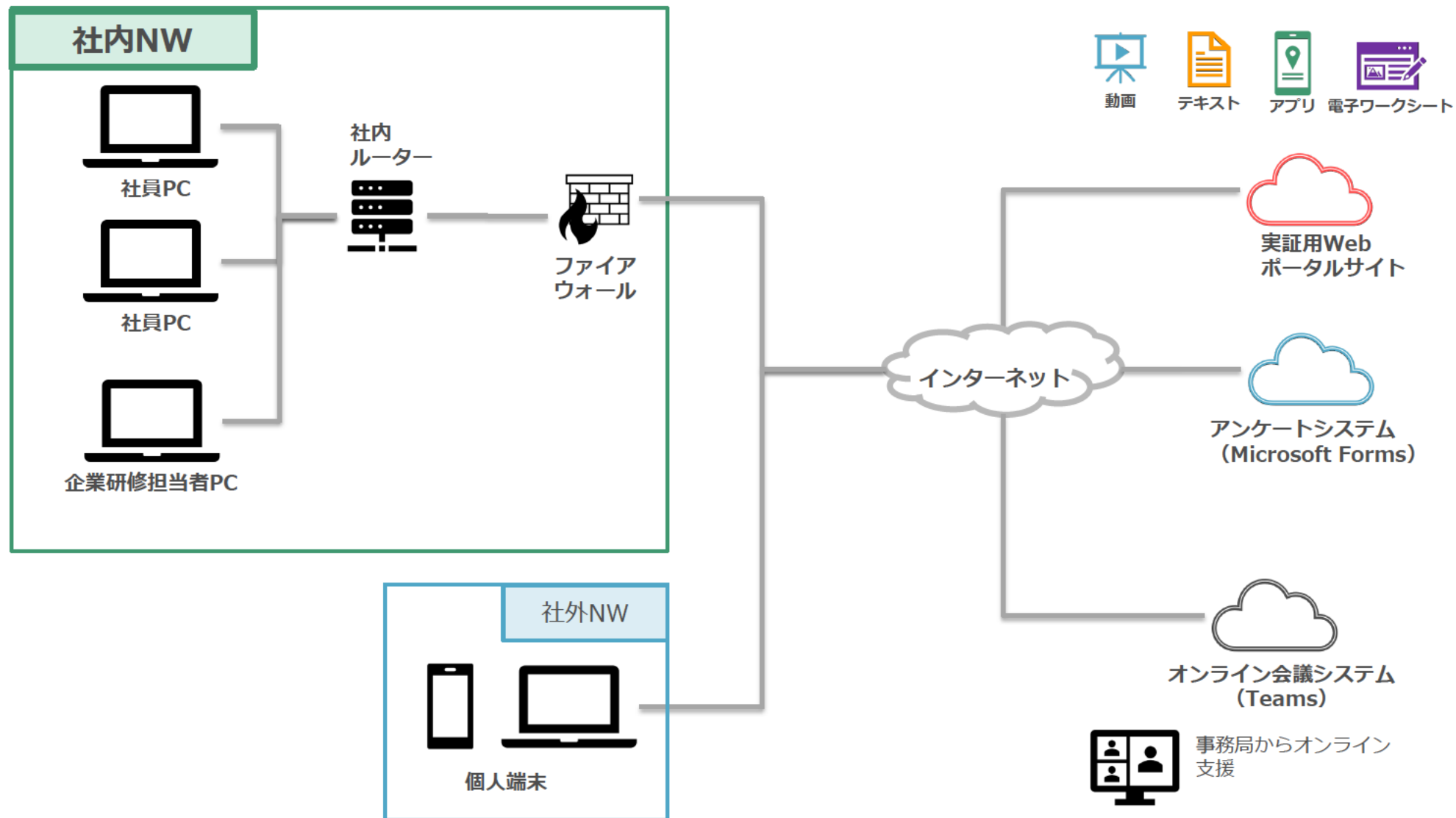
実施内容	主体者	現地/オンライン
アンケート項目、フォーム作成 アンケート項目を作成 アンケート項目をフォーム（MS Forms）に登録 アンケート用QRコードの発行	事務局	オンライン
視聴後アンケート実施 視聴者に視聴後アンケートを実施（視聴者に番組上のQRコードから取得頂く） 専門家にアンケートを実施（アンケートは事務局よりメール送付）	視聴者・専門家	オンライン
アンケート結果受領 アンケート結果を受領、整理	事務局	オンライン

3-3. 成年向け実証スケジュール

	令和3年						令和4年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	コンテンツ制作期間				実証期間			成果まとめ（評価）	
事務局	コンテンツ制作				教材説明会4社向け ▼▼eラーニングリリース			アンケート集計	コンテンツ改修
		実証企業・CATV事業者への説明			問い合わせ対応				
		効果測定設計							
実証企業		実証企業内での社内調整			教材説明会 研修案内		eラーニング研修実施 研修後アンケート ・受講者向けアンケート ・研修担当者向けインタビュー、座談会		
CATV事業者				社内調整検討	12月放送枠動画提供 ▼	1月放送枠動画提供 ▼			
					番組制作		番組配信・アンケート		
有識者会議分科会					分科会 ▼ ・教材の承認 ・実証研修開始の承認			分科会 ▼ ・実証研修の報告	

3-4. 実証環境

eラーニング研修 企業内ネットワーク



3-4. 実証環境

eラーニング研修 環境要件

対象	物品	確認事項
社内	インターネット環境	外部アクセス可否の確認
研修受講用端末	研修受講用PC、タブレット	社員端末から外部アクセス可否の確認 端末貸与の確認

CATV配信 環境要件

対象	物品	確認事項
一般消費者	ケーブルテレビネットワーク環境	—

その他環境

対象	物品	使用場所
事務局	Web会議システム	教材説明会、オンライン支援
	PC、タブレット	教材説明会、オンライン支援
	マイク	教材説明会、オンライン支援
	スピーカー	教材説明会、オンライン支援
	Webカメラ	教材説明会、オンライン支援



実証検証について

4-1. 実証検証の目的と概要

■ 目的

制作した啓発用デジタル教材について、以下を目的として実証検証を実施する。

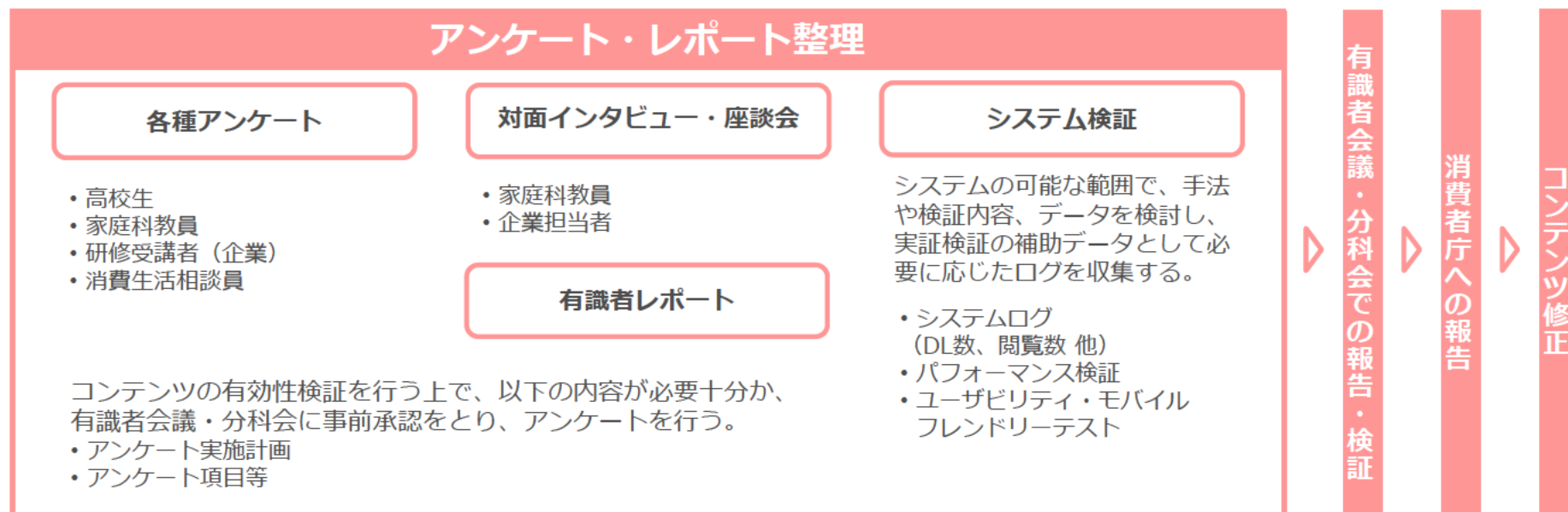
- ◆ 各世代に向けた効果的な消費者教育教材となっているかの検証【**内容検証**】
- ◆ 当該教材を活用した効果的な啓発手法の検証【**啓発手法の検証**】
- ◆ 利用者からのフィードバック及び制作したデジタル教材のブラッシュアップ【**教材のブラッシュアップ**】

■ 概要

以下の手法を用いて、本実証検証を実施する。

- ◆ 知識理解度の変容を把握するためのアンケート
- ◆ コンテンツに対する意見を集約するための対面インタビュー・座談会
- ◆ 実証授業についての現地調査レポート
- ◆ システムログ等の整理

<実証検証の流れ>



4-2. 内容 – アンケート

■ 実証検証：アンケート

以下の表の通りアンケート・インタビュー・座談会・レポートによる実証検証を実施予定。

実証種別	対象	目的	手法
高等学校	高校生	知識理解度の変容を把握（効果的な内容であったか） ・ 知識理解度 ・ ユーザビリティ	アンケート （Microsoft Forms）
	教員	コンテンツに対する意見を集約 ・ ユーザビリティ ・ 使い勝手の良さ（授業の組み立てやすさ）	対面インタビュー・座談会 （オンライン会議）
	有識者	実証授業についての評価 ・ 授業の様子で気になったこと・意見等 ・ 事務局による客観観察（生徒のレスポンスや操作状況、 つまずきポイント等）含む	現地調査レポート
成年消費者向け	受講者	知識理解度の変容を把握（効果的な内容であったか） ・ 知識理解度 ・ ユーザビリティ	アンケート （Microsoft Forms）
	企業担当者	コンテンツに対する意見を集約 ・ ユーザビリティ	対面インタビュー・座談会 （オンライン会議）
一般消費者向け	消費生活相談員 一般視聴者（任意）	・ 啓発手法の評価 ・ CATVの配信におけるコンテンツ内容が適切であったか	視聴後アンケート （メール・QRコード）

- ◆ 成年消費者向けの実証予定企業ではGoogleフォームへのアクセスが厳しいため、アンケート手法はMicrosoft Formsを採用。
- ◆ 対面インタビュー・座談会は、新型コロナウイルス感染症拡大を鑑み、オンライン会議で実施。
- ◆ 現地調査レポートは、有識者が現地に赴いて実証授業を視察し、レポートを作成。

4-2. 内容 – アンケート

アンケート構成①

- ・ アンケートはMicrosoft Formsを用いて実施する。
- ・ 質問形式は基本ラジオボタン（単一選択）、設問によりチェックボックス（複数選択可）を採用する。
- ・ 満足度の調査設問の場合は、「満足、ふつう、不満足」や1～5までの数値で段階的に評価するスケールタイプの形式を用いる。

※アンケート画面イメージ

消費生活についてのアンケート

さん、このフォームを送信すると、所有者にあなたの名前とメールアドレスが表示されます。

* 必須

消費生活クイズ

次の質問について、正しいと思うものを選択してください。

1. 店で買い物をするとき、契約が成立するのはいつ？ *

- ☐ 商品を受け取ったとき
- ☐ 代金を払ったとき
- ☐ 店員が「はい、かしこまりました」と言ったとき
- ☐ 分からない

4-2. 内容 – アンケート

アンケート構成②

◇知識理解度に関するアンケート

設問内容としては、消費者庁が提供している「社会への扉」の**内容を理解し習得出来たか**を含む、消費者教育の内容とする。

◇ユーザビリティに関するアンケート

コンテンツ毎に利用者に評価してもらう構成とする。

（動画、授業用教材（パワーポイント資料/ワークシート）、アプリ、eラーニング、Webポータルサイト）

また、教材によってテーマを理解できたか、内容は難しかったか等、**理解度と難易度**についても回答してもらう。

◇全体を通したアンケート

研修時間の満足度や、属性（企業名、所属、学校名、クラス等）について回答してもらう必要等があれば設問を用意する。

◇システムログ

ポータルサイトの閲覧数、各コンテンツDL数等、ユーザの興味指数の参考値としてシステムログを取得する。

※アンケート項目の詳細については別紙にて設計

4-2. 内容 – アンケート

インタビュー・座談会

先生/企業担当者を対象に、実証授業/実証研修の終了後、インタビュー・座談会形式でデジタル教材についてアンケートを実施する。主にユーザビリティの観点で事前に質問内容やテーマを定め、当日対話しながら回答いただく。

（質問内容の例）

- ・ユーザビリティ（教材の使いやすさについて）
 - 使いやすかったか？
 - 改善して欲しいところはあったか？具体的にはどんなところ？
 - こんな機能や教材があれば良かったと思うところは？
 - 逆に良かったところは？
- ・有効性について（知識定着に貢献できる教材であったか）
 - 生徒/社員の反応はどうだったか？
 - 教材の充実度についてどうだったか？過不足等感じたか？
 - ボリュームは適切だったか？

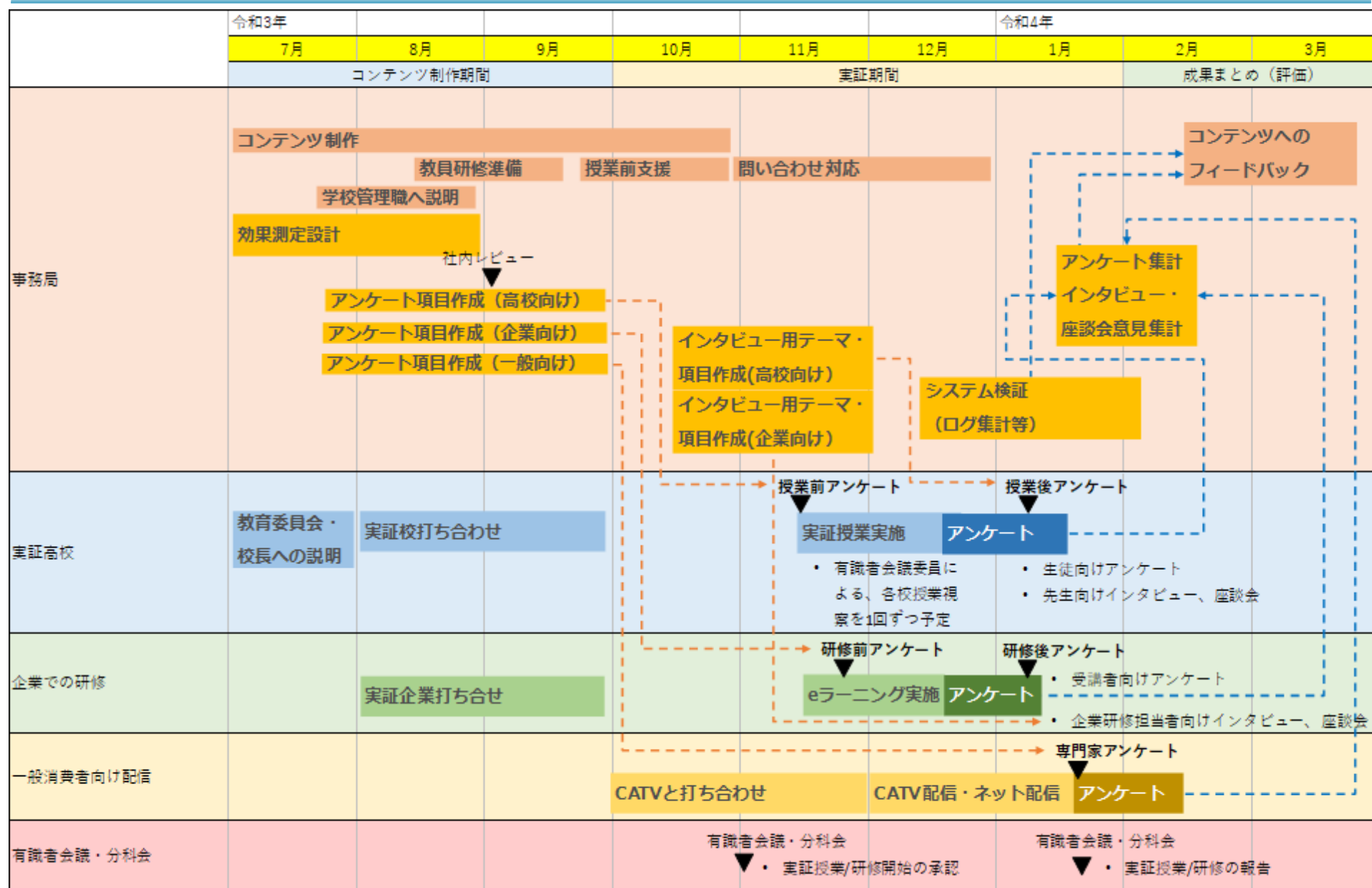
※質問内容、テーマの詳細については別紙にて設計

CATV情報配信の視聴後アンケート

消費生活相談員等の専門の方を対象に、コンテンツの情報配信をCATVにて配信後、視聴後アンケートとして実施予定。
設問内容としては、主にインタビュー・座談会で設計した動画コンテンツに関する内容を流用する。
一般消費者への任意アンケートは、主に高校生向けアンケートで設計した動画コンテンツに関する内容を流用する。

※アンケート項目の詳細については別紙にて設計

4-3. 実証検証スケジュール



5. 全体スケジュール

本事業における最新のスケジュールを以下に示します。短い期間での開発であるため、各デジタル教材の製作を並行して進めており、制作完了したものから順次リリース致します。また、**11月より調査実証が始まり、実証後のアンケートは速やかに集計し教材へのフィードバックができるよう取り組みます。**委員の皆様におかれましては確認作業へのご協力を賜りたく、何卒よろしくお願いいたします。

